

令和5(2023)年度 学力向上検証委員会のまとめ

1 目的

とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）を検証し、県教育委員会が実施する学力向上対策の改善に資する。

2 学力向上検証委員

11名（大学教授、県小学校長会代表、県中学校長会代表、県高等学校長会代表、県小学校教育研究会代表、県中学校教育研究会代表、市教育長部会代表、町教育長部会代表、県PTA連合会代表、総合教育センター所長、教育事務所長会代表）

3 期日及び実施内容

・ 第1回

期日：令和5（2023）年7月3日（月） 13：30～15：30

内容：説明 とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）これまでの取組のまとめ

協議 とちぎっ子学力アッププロジェクトに係る今後の取組について

・ 第2回

期日：令和5（2023）年9月4日（月） 13：30～15：30

内容：説明 ①令和5（2023）年度第1回学力向上検証委員会について

②令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）について

③令和5（2023）年度学力向上通信等について

協議 今後のとちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）について

・ 第3回

期日：令和6（2024）年2月8日（木） 13：30～15：30

内容：説明 ①令和5（2023）年度第2回学力向上検証委員会について

②これまでの「とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）」について

協議 令和6（2024）年度「とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）」について

4 本年度の検証委員会について

「とちぎっ子学力アッププロジェクト」が10年となり、本年度の委員会では、プロジェクトに係るこれまでの取組の成果や課題等について検証を行ってきた。委員会の協議では、参加した委員に対し、それぞれの立場からの意見を求めた。特に第3回委員会では、第2回までに出された意見を整理するとともに、次年度の新規事業である学力向上推進リーダー（中学校）配置事業及び学力向上コーディネーター派遣事業についての提案を基に協議を行った。また、これまでとちぎっ子学力アッププロジェクトにおいて成果を上げてこられた事業は、同じ方向を向いて課題解決のために取り組んできた事業であると再確認できた。

5 委員長の総括

「とちぎっ子学力アッププロジェクト」が今年度で10年を迎えるに当たり、本年度は3回の委員会を通して、県全体の学力向上に向けた取組についての検証を行った。協議においては、これまでの取組の成果と課題を検討し、各委員会から成果について広く周知する必要性や、今後のプロジェクト継続を望む意見が出された。特に、県版学力調査については、各学校や市町教育委員会において、学力向上に向けた検証改善サイクルの根幹となっていること、また、授業だけでなく、各種研修会等において調査問題や結果が活用されていることなども確認できた。今後は、ICTを活用した調査の実施方法や内容を見直すなど検討を重ねることや次年度以降の新規事業などの取組について更なる充実を図ってほしい。